

月刊住職

GEKKANJUSHOKU

2018

1

法事を勧める得策／寺院墓地の将来／資産家の寺院住職遺贈金訴訟／代務住職の権限
お寺のドローン／住職消防団／教団財政の増減／幽霊と死生観／怪談和尚／人の寿命
三浦雄一郎／澤地久枝／加治和彦／玄侑宗久／金菱清／川又俊則／水月昭道／圭室文雄／井原今朝男／池内了





【一八〇〇年】平泉ナンバーの住職

ナンバーデザインで住職受賞

今年（二〇一八年）十月から、

各地の名勝・名産品の絵柄やカラー版の「車のナンバープレート」が全国的に走り出す。国土交通省が推進する「ご当地ナンバー」だが、なんと住職考案のデザインが採用される。写真の通りご当地とは岩手県「平泉ナンバー」。実はこれ、一関市・奥羽市・金ケ崎町・平泉町の合同委員会が公募したデザイン賞でこの十一月、一関市の時宗長徳寺・渋谷真之住職（四十二歳）が創作して



住職 渋谷真之

デザインした「平泉ナンバー」

最優秀作に選ばれたものなのだ（副賞五万円）。まず平泉文化を象徴する黄金色が印象的。まさに走る「平泉布教塔」に

ふさわしいと委員会も激賞した。

大正大学卒業後は広告代理店に勤めていたこともある渋谷住職だが「営業でしたので、デザインは門外漢。でも公募を知って、すぐに図柄がひらめいたんです」。平和を象徴する円、泉から発する大河、中尊寺金色堂内の装飾模様を金色で格調高く図案化した。「それにしても、まさか受賞するとは。知らせを受けた時は鳥肌が立ちました」と、誰よりも渋谷住職自身がびっくり。地元紙で紹介されるとお寺には多くの声が寄せられた。「うれしかったのは、ガンを患う檀家さんから『夜も眠れない状態が続いていたけど、素敵なナンバープレート』の絵を見て心が安らくなった」と電話をいただいたこと。長らく声を聞けなかった方とお話できた上に心のケアにもなりうるデザインの力を認識させられました」と渋谷住職。今秋、この平泉ナンバーの車を多くの人々が目にするはず。今から楽しみだ。